

富山県建築文化賞2022受賞

クラハウス オープンハウス

築110年の土蔵を住宅としてリノベーションしたプロジェクト「クラハウス」が富山建築文化賞を受賞いたしました
この機会にみなさまにお披露目させていただきたく、オープンハウスを実施させていただきます
足元の悪い時期ではございますが、みなさまのご来場をお待ち申し上げます



[日 時] 2022年 12月17日(土) 18日(日)
※両日とも 10:00 から 17:00 まで

[場 所] 富山県滑川市常盤町地内

[申 込] 弊社websiteからご来場登録ください。 ※予約無しでもご来場できます。
<https://www.hosawakenchiku.com/?p=4815>

[備 考] 駐車場に限りがございますので、可能な方は公共交通期間をご利用ください。

[お問合せ] 有限会社 法澤建築デザイン事務所
076-475-5771 (tel)
info@hosawakenchiku.com



[申込URL]

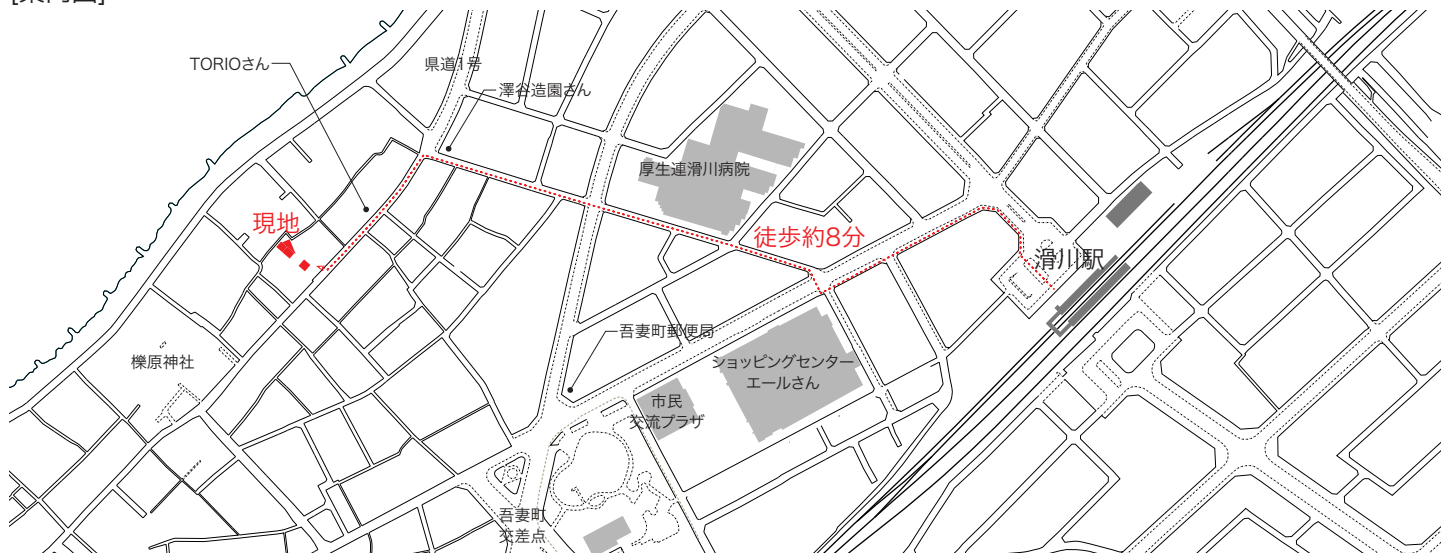


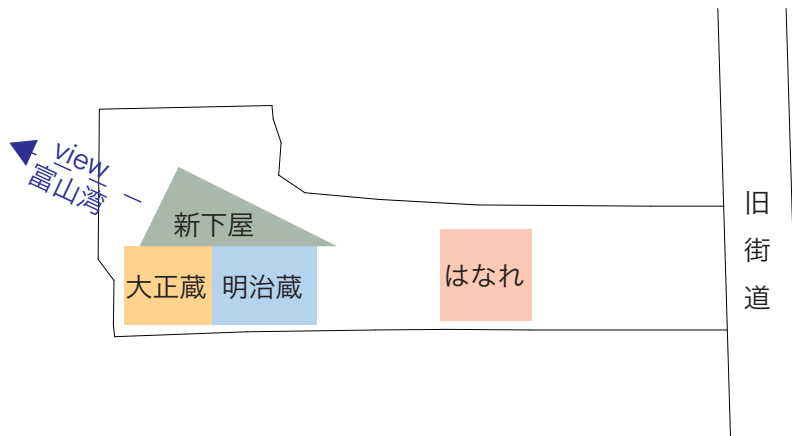
[gmap]



[弊社web]

[案内図]





【設計趣旨】

明治、大正、昭和、平成、そして令和。建築物をめぐる物語は、時代の家主によって創られ、受け継がれ、壊され、そして再び築かれる。その継承は「上書き保存」でも「別名保存」でも無く、傷跡の上に新しい傷跡を残すようなものである。この反応が自発的に連鎖しはじめた時、持続する建物としての姿がようやく現れてくる。建築におけるサステナビリティとは、現代においては環境問題に帰納することが大半と見受けられる。このリノベーション・プロジェクトでは、サステナブルを環境問題にとどめず、複数世代にわたる建築主の作為の連続による「建物の持続」をテーマとしている。その原型は、明治・大正期に建てられた2つの土蔵にある。

敷地は、旧北國街道に面した「鰻の寝床」。宿場街として栄えた港町の片隅にあり、北側には駐車場をはさみ 富山湾を望む。今日、このような 旧市街地に住処を求める若者は少なく、高齢化が深刻な地区である。この2つの土蔵は、小さな宿場街の歴史とそこに生きた人の生活を残す遺構といえる。

リノベーション・プロジェクトの構想は、明治蔵・大正蔵に付随する老朽化の激しい下屋の検討からスタートした。その修繕は困難であると判断し、解体し、新たに下屋を増築することとした。なお、はなれとの渡り廊下も同時に解体し、はなれは独立した「アトリエ」として活用することとした。

令和の下屋は変形した敷地形状に合わせ、三角形としている。明治蔵の土蔵扉がある部分に玄関を設け、その先にはダイニングとキッチンを設置した。これらは蔵内部では確保することが難しく、機能を補完するものとして計画している。周囲との高低差を活かし、ダイニングからは富山湾を眺めることができる。また、限られた敷地で掘削を行う必要があったため、基礎は外壁線からセットバックさせた。重厚感のある明治蔵・大正蔵にたいし、令和の下屋は軽やかな佇まいになるようにした。それぞれの存在感を際立たせることにより、対比的に調和することを企図している。

明治蔵・大正蔵は、令和の下屋と一つの建築物を構成するため、現行法適合が要請された。とりわけ、耐震性の確保については困難を極めた。明治蔵・大正蔵・令和の下屋はそれぞれ構造分離しているため、2つの蔵にたいしては一般診断法による耐震改修を試みた。それぞれ の蔵は内部に構造材が現しになっているため、耐力面材張とすれば容易に耐震補強を行うことができる。しかし、従来の構造材や漆喰壁が覆い隠されてしまうため、その魅力を味わうことができない。そこで選択されたのは、土蔵の内部に独立した基礎と耐力壁を設け、内側からの補強を行う方法である。外周部は可能な限り原型を留め、土蔵の魅力が復元されるように配慮した。耐力壁を確保するために、トイレや浴室、収納といった小さな部屋を「コア」としてそれぞれの蔵の中央部分に配置している。また、コア部分は配線や換気ダクト、空調冷媒管などを設け、設備スペースとしての役割も担う。

蔵は本来的には物品を収蔵するための建物であり、人が暮らすためのものではない。しかし、「シェルター」としての十分な役割や土蔵造ならではの高い断熱性能は、住空間においてあたらしい価値を提供する。建物は時代を超えて残り続ける。そして、本来の目的を失った時にはじめて「持続」させることの意義が問われてくる。建物を取り巻く歴史やそれに関わってきた人々や地域への敬意、そして代々受け継がれていく「空間の美学」こそが「持続可能な建築」をつくるための動機になるのではなかろうか。



土蔵の屋根補修 木下地を長ビスで垂木へ固定



屋根先端部は鉄骨・鉄板による補強を行った



明治蔵の内部に基礎を新設 耐震補強



蔵戸修復 白漆喰および黒漆喰磨き